

# GDA の目指すもの

## -GDA 創設趣旨-

人類は、今「グローバル時代」という全く新しい時代に、突入しました。「グローバル化」を「文化、経済、政治など人間の諸活動が、国境を越えて、行われるようになり、地球規模で統合、一体化される趨勢」（ブリタニカ国際大百科事典など）と、定義すれば、私たちは20世紀後半より、21世紀にかけて、人類史上、初めて、「グローバル時代」を迎えたと、言えます。このような時代の潮流の中で、主要な国々は、迅速な対応策をとったのに対して、我が国の官民の対応は、識者が「20年の遅れ」と評する程の緩慢なものであったと、言わざるを得ません。

ところで、1980年代初頭、米国政府は、国力衰退が著しいと指摘された危機的状況に対して、レーガン大統領のイニシアチブの下、各界の一流の頭脳を結集して、「危機に立つ国家」（“A Nation at Risk”）と題する報告書をまとめ、国民に提示しました。その中で、「最も重要な課題は、教育である」と、明言しました。その後、約20年間の努力の結果、米国は、世界の超大国として、再び浮上したのです。私達も同様に、現在の日本の危機的、閉塞状況を突破する最も根本的、かつ実質的方策は教育、特に「グローバル人材の育成」にあると、考えています。

一般的に、「グローバル時代」を主導する「高度グローバル人材」の資質として挙げられるのは、①英語力、コミュニケーション能力 ②専門的能力による問題解決力 ③異文化、自国文化に対する理解 ④問題解決への果敢な、主体的取り組みなどです。私達、グローバル・ドリーム・アカデミー（GDA）は、これらに加えて ⑤人類共有の文化的遺産（芸術、科学、世界宗教など）の基礎知識の修得 ⑥グローバルな（地球規模の）一つの共同体の一員であるという共感性などを持てるよう、生徒を指導していきたいと考えています。

そして、これらの資質を備えた高度グローバル人材を育成する最も効果的な進路の選択肢が、大学・高校課程に於ける米国をはじめとした海外の国々への進学・留学です。古来、「百聞は一見に如かず」と言われてきましたが、外国人の言葉、生活、文化に通ずる最短、最善の道が、まさに「若き日の留学」であると、確信しております。

今一度、GDAが目指すものを、その名前の意味するところから、考えてみたいと思います。

- グローバル：文化、政治、経済の諸活動が、国境を越えたグローバル時代において「人、モノ、カネ、情報」の自由な交流を牽引する指導力と、加えて、宗教、人種、国籍の壁を超える「心のグローバル化」の教育を推進します。
- ドリーム：世界の真の平和と繁栄を達成するという崇高なドリーム（夢、大志）を必ず実現するという希望と確信、そして人類に対する溢れる愛と情熱を持った若き指導者の育成に取り組みます。
- アカデミー：近代の西洋で、最も権威ある学術・教育機関であったアカデミーのように、国家の進路に決定的影響を与える未来の指導者を養成します。アカデミーの由来は、BC387年ごろギリシャの哲学者プラトンが創設したアカデメイア（学園）にあります。

GDAに対する 多くの皆様方の、ご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。